

我が家の家庭果樹



大川普及センター
植樹部 吉井

自分でせん定した樹が、美味しい果実を实らせてくれた時はとても嬉しいものです。今回は、花芽（実）のつき方について紹介します。なお、実際のせん定方法については、前回12月号を参考にしてください。

うめ

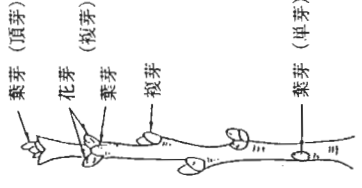
普通、果実は15cm以下の短果枝によく結実し、小梅では、長、中、短果枝のいずれにもよく結実します。



1年目冬
強く切り返すと長果枝が多くなり、花や実が着ましくなるので、枝の強さで調節する。

2年目冬
先端の2〜3芽は長果枝、それ以下は中果枝や短果枝になる。

3年目夏
中果枝や短果枝によく結実する。



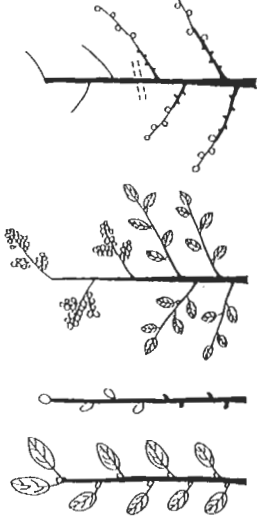
すもも

花芽はいずれの枝にも着生し、短果枝や花束状短果枝の方が、中果枝・長果枝に比べ良く結実します。樹勢を維持するため先端を切り返しますが、ソルダムなどは強めの切り返しを、サントラローザ、太陽などはやや弱い切り返しを行います。



ブルーベリー

枝の先端数芽に花芽があります。多くの花芽着生部には葉芽がなく、結実後はその部分が枯れます。前年結実した部位の下に花芽のついた小枝が多数分岐した状態となります。樹勢が良好な樹では4〜5年経過した頃からシユートと呼ばれる枝が発生し、その先端にも花芽がつき翌年果実をならせませす。

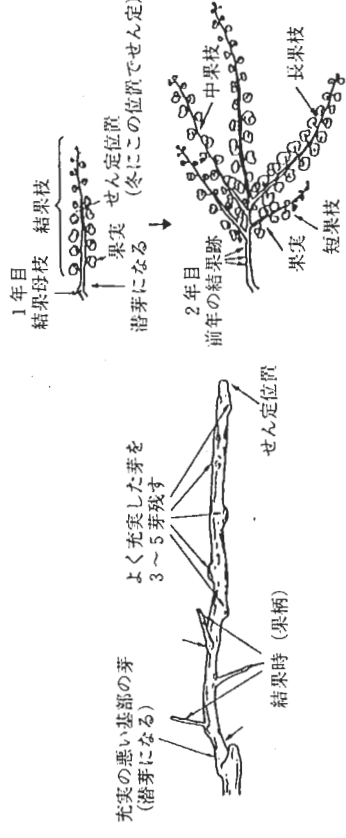


○花芽
●葉芽

腋芽が翌芽になり2年目に発芽し、シユートになったもの
基部の腋芽からのシユート

キウイフルーツ

花芽は新梢基部数節にあります。しかし、前年の結果部位には成長点がなく、花芽をもつた芽は前年の結果部位より先端の部位にあります。



ワンポイントアドバイス
キウイフルーツの枝は、残す芽の上で切らずにもう一つ上の芽と残す芽の中間で切るようにすると枯れ込みにくくなります。